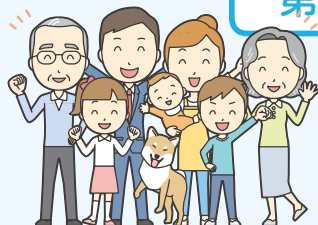


Q & A その後どうなった？

第6次武豊町総合計画にSDGsを導入



(令和元年12月議会)

A 町の最上位計画である次期総合計画にSDGsの取り組みを導入する必要があると考える。達成に向けた取り組みの推進は地方創生の実現に必要なものである。

Q SDGs(持続可能な開発目標)は2015年9月の国連サミットで採択された、2016年から2030年までの国際目標である。持続可能な社会の実現に向けてゴールを定め、地球上のだれ一人として取り残さないことを誓っている。SDGsへの本町の推進、取り組みは。



▲役場ロビーでもSDGsを啓発

令和3年度からの、第6次武豊町総合計画に、SDGsが目指す17のゴール(目標)に向けた9つの分野にわたる施策方針を示した。

その後

令和3年度4月から使用済み紙おむつは保育園で処分



(令和2年9月議会)

感染症のリスク低減と保護者と保育士の負担軽減の観点から、来年4月からの実施体制の整備を図ってきたい。

A おむつの持ち帰りは、布おむつ時代の名残である。家庭で、園児の便の様子から健康チェックをお願いしていた。園においては、ビニール袋に入れ、蓋つきバケツに入れて保管していた。

Q 保育園における紙おむつの持ち帰りについては、以前から、保護者から不衛生であるとの声が上がっていた。最近、感染症専門職の方からも、感染リスクを増やすので見直すべきだとの指摘があった。早急な対応が必要では。



▲室内用オムツペール



▲屋外用ワイドペール

令和3年度から、各園の屋内および屋外に紙おむつの保管容器を設置した。保護者の感染不安と送迎時の負担が軽減され、園においては保育士の作業量の軽減につながった。

その後